

2020年7月3日

岡山県知事 伊原木 隆太 殿

岡山県保険医協会
理事長 木村 哲也



新型コロナウイルス感染拡大防止に関する要請書

県内での発生以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種支援策を実施くださっていますことに感謝申し上げます。

診療を担う医療機関にとって、回避すべき事態は発生時から一貫して、

- ① 自院での感染者の発生（自院スタッフ、患者の双方とも）
- ② アルコール、衛生材料等の在庫切れ（第2次流行に備えての備蓄目的を含め）
- ③ 外来患者数の減少による医療機関経営の悪化

であり、これらの結果、自院や地域医療全体が機能不全に陥らないようにすることにあります。

上記②、③は多くの医療機関で現実のものとなっており、当会の影響アンケート結果（別紙参照）でも、2020年2月から5月までの4か月の間、「外来患者数」「保険診療収入」は減少を続け、5月診療分では、収入が80%も減少した診療所もありました。

今、医療機関が最も必要としているものは、経済的支援であり、医療に必要な薬剤や物資であり、来院を控えていた患者の通院受診です。

つきましては、下記事項の実現につき、早急なご対応をお願い申し上げます。

記

- 1、岡山県事業継続特別支援金について、医療法人も対象とすること
- 2、医療従事者等慰労金交付事業及び感染拡大防止等支援事業について、申請の簡便化を行うとともに、1日も早く支給すること
- 3、アルコール、衛生材料、PPE等について、県の備蓄を増やすとともに、これらが不足している医療機関に対しては無償で配布すること
- 4、県民の健康保持のため、県民に対し、医療機関への適切な受診を訴えること
- 5、新型コロナウイルス感染症の流行第二波とインフルエンザの流行の期間が重複する可能性を考慮し、健診や予防接種などは早期に受けるよう、県民に対し促すこと

以上